



IP_STUDIO IV ご紹介

アイティニュース

コンセプト



1. IP_STUDIOは情報配信ソフトウェアから情報共有ソフトウェアへ

2. コストパフォーマンスに優れたデファクトクラウドツール対応

○マルチクラウド対応

OneDrive/Dropbox/GoogleOne/Link/box など

先端ストレージ連携対応

システム概要



IP_STUDIO Cloud

○代表的なストレージクラウド対応

1. OneDrive
2. Google One
3. Dropbox
4. LINK (国産)
5. box



1. 専用サーバー不要
2. ブラウザ、スマホから 更新も可能。
3. 各社のアプリケーションと連携容易
※最先端の技術を短期間で揃えられる
4. 運用が楽
5. リアルタイムに差し替え可能
6. コストも安い
7. メンテ不要



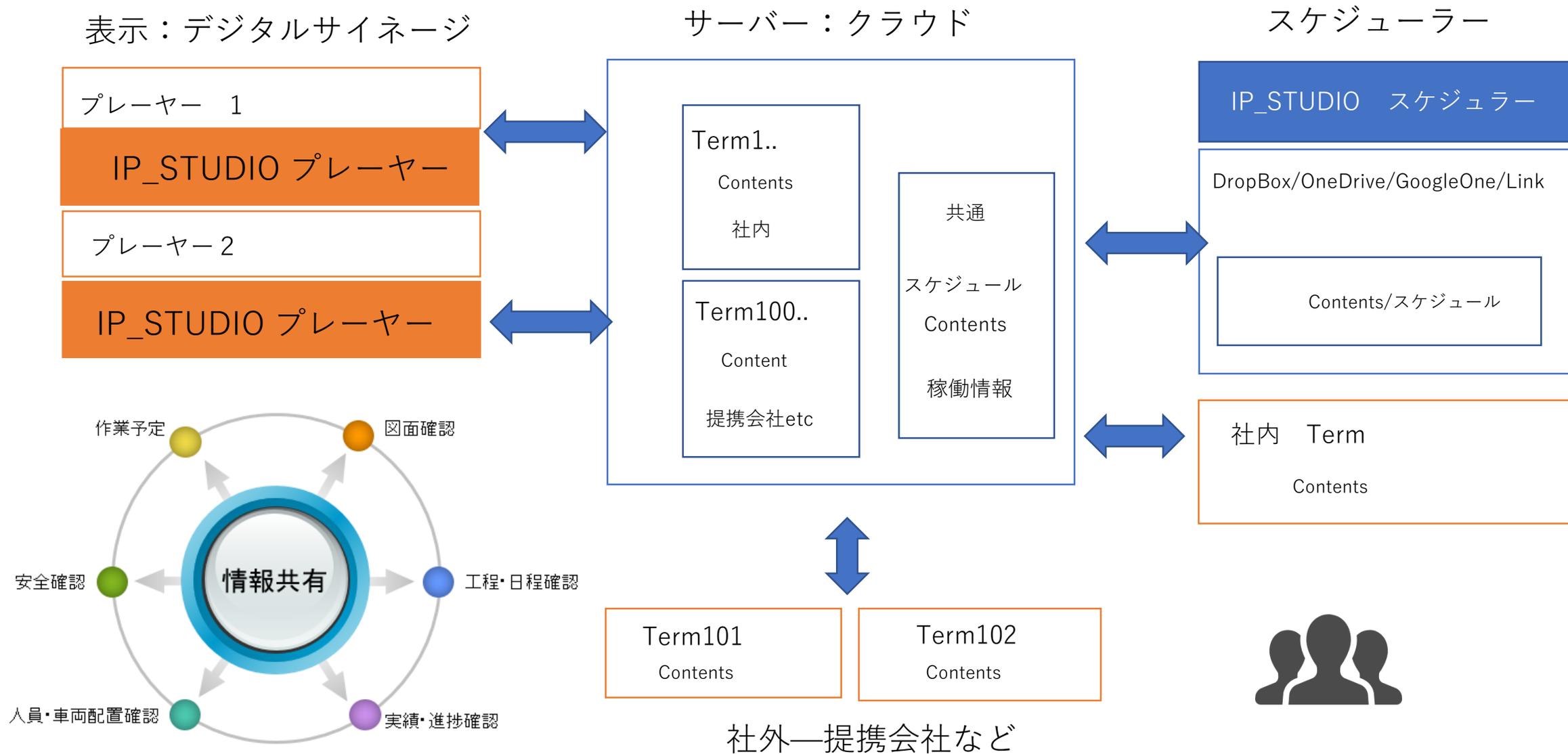
+

設定は簡単：ネットワークホルダーを指定するだけ



共有ホルダーがクラウドストレージ

クラウドサーバー利用で情報共有---ビジネスフロー革新



背景

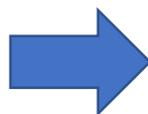
人手不足が深刻化し一人一人の従業員の役割の重みが一層増すなか、生産性向上とワークライフバランスをともに実現するような働き方改革が求められる。

そこでアイティニュースでは、

IT活用とチームのスムーズな**情報共有**こそ重要と考えました。

働き方改革とワークフロー改善により、**建設現場の情報ネットワーク環境の改善**に貢献するシステムの必要性。

世界の最先端技術をいつでも取り入れることができる仕組みが、求められる。



1. 情報配信システムから情報共有システムへ

オンラインクラウドストレージの採用

クラウドストレージ/オンライストレージ (NEW)

2. デバイスフリー (マルチデバイス)

PC、スマホ、タブレット、ホワイトボードなどからもコンテンツ更新ができる仕組み。(ホルダー共有)

オンラインストレージであれば、ITリテラシの高い方は、アプリケーションなしでも、簡単にコンテンツ更新ができます。

3. クラウドアプリケーションとの連携が容意にできる。

デバイスフリーによってどこでも働ける環境を実現し働き方改革に大きく貢献する。さらに、世界中の会社が開発している最先端アプリケーションとの連携がスムーズにできる。

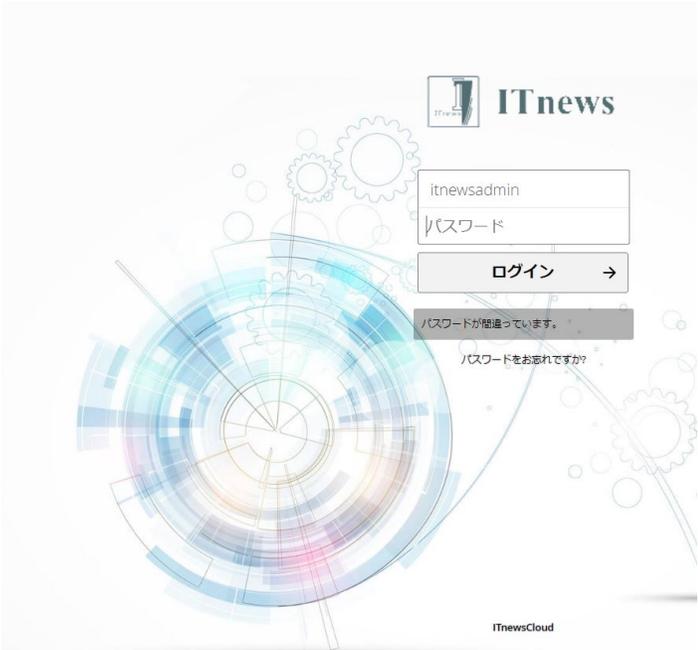
(参考)



国産クラウドストレージ

純国産のクラウドストレージも対応

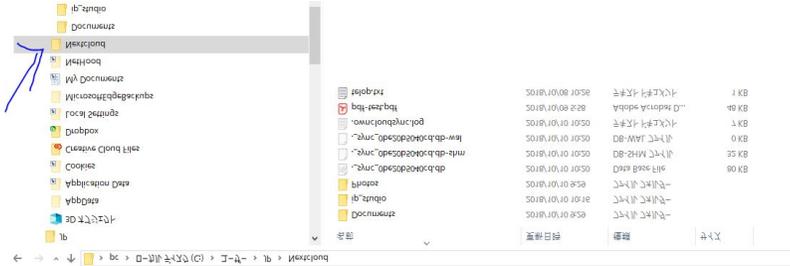
インストール画面



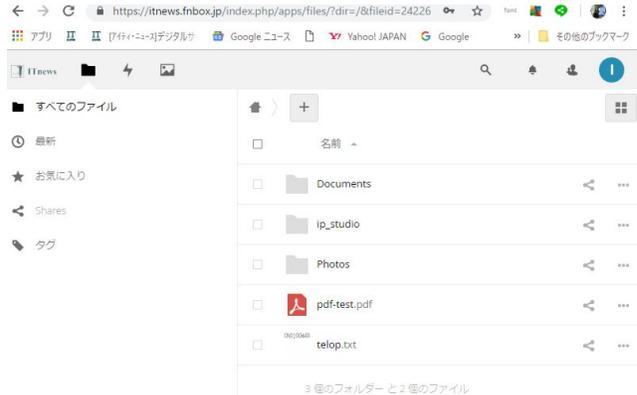
IP_STUDIO ホルダー



デスクトップホルダー



WEBホルダー



アイティニュース+フォースネット社